

# ファミらいふ NEWS

vol. 01  
2017年 春号

fufufu♪



## 目次

- P2. 田中組新社屋  
リノベーションにあたり
- P3. 代表よりご挨拶  
工場現場安全への取り組み  
相続税法改正における注意点  
ドローンはじめました！
- P4. 総合介護福祉施設 かりん  
賃貸管理センターより  
出会いを創いで / 編集部より

NEW OFFICE OPEN!!

# 田中組の本社屋が 新しくなりました！



あなたの暮らしに、*fufufu♪*  
ファミらいふ  
LIKE A FAMILY HEART



建設・土地活用・リフォーム事業  
株式会社田中組



不動産賃貸・売買仲介事業  
ファミねっと



介護事業  
株式会社シルバーサポート

<http://fam-life.jp> ファミらいふ 検索

NEW OFFICE

# タ・フェイス

田中組の新しいオフィス



3つの④

- ④ タスクがはかどる
- ④ タモクテキに使える
- ④ タノシイ

BEFORE



## 田中組新社屋 リノベーションにあたり

田中組の新社屋プロジェクトは社長の3つの願いから始まりました。それは次の3つです。

1. 執務室をワンフロアに
2. 宮大工から始まった会社であることを表現した
3. 地域に愛される会社になる

代表取締役 田中 康太郎

たまたま活用をご検討中のオーナー様からご相談をいただいた倉庫。規模的に、田中組のオフィスに丁度良いかもしれない。私は初めて見たときから一気に想像が広がり、頭の中で図面をひいていました。「ここなら素敵な空間が作れるかもしれない…」まさかそのままこの倉庫を活用してのプロジェクトが進行するとは思いませんでした。

倉庫のリノベーションは初めてであり、倉庫の既存図面などは残っておらず、解体してみないとわからないことだけでなく、設計・施工に苦労しました。必要に応じて補強を入れ、防水工事を施しました。倉庫のメリットは天井が高いことです。天井を張れば空間の体積が減り空調効率が良くなりますが、倉庫ならではの魅力が損なわれてしまう。悩みましたが天井を張らず、宇宙服にも使われているという高機能の遮熱シートを貼りました。室内の暖気・あるいは冷気がこのシートで反射し、室内を対流することにより、空調機器の出力が半分ほどに抑えられます。その為、あえてそのまま見える仕上げにしました。このオフィスのもう一つの新たな取り組みは、フリーアドレス制を導入したことです。席が固定ではないので向かいの席はいつも同じ顔ではありません。普段は接点の少ない社員と話す機会も増え、新しいアイデアが生まれる可能性が増えそうです。また、カフェスペースと多目的トイレを設けたことにより、様々なお客様を招くことができます。地域に愛される会社へ一歩近づけたかもしれません。エントランスホールには宮大工の大きく立派なモニュメントが設置されています。ぜひ皆様、お気軽にお立ち寄り下さい。

POINT

- ① オフィスの中をご案内
- ② 宮大工の仕事を体験できるコーナー
- ③ 誰でも使えるカフェスペース

誰でも気軽に  
お越しください!

設計室 室長  
小林 秀彦

皆様のお越しを  
お待ちしております!



## 代表よりご挨拶

代表取締役  
田中 康太郎

平素は皆様におかれましては当グループを御愛顧頂きまして有難う御座います。「ファミらいふ」グループは、当社の関連事業である建設、介護、不動産をグループ化したものです。グループのキャラクターである「ふふ丸」は、弊社の白山浦にありました旧社屋の中庭に江戸時代からあったかりんの木をモチーフにしたものです。いつの代にもそのかりんの実で母親が家族のためにかりん酒を作っていたというので、「ふふ丸」を家族愛の象徴と位置づけ、グループの「理念」の象徴と決めました。

つまり、このグループは、家族同様の利他の精神に基づきお客様一人ひとりと向き合い、一人ひとりの多様なニーズにお応えしていこうという決意で立ち上げられたのです。「お客様第一主義」の理念を掲げて、お客様が望んでいることを正確にキャッチし、お客様にとって最善の解決策を提案して誠実な仕事をする、それが「ファミらいふ」グループです。

創業以来弊社は86年間、新潟の地で御世話になっており、これまで同様継続的に地域貢献していく所存です。今後とも当グループに対し御指導・御鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 工事現場 安全への取り組み



### 家族に感謝！仕事に感謝！ 安全作業で災害・クレームゼロへの達成

工事部 工事部長  
五十嵐 充彦



各現場では、毎日作業にたずさわる協力会社に対し、現場での安全を伝える義務があります。現場内での作業災害、現場外での交通災害・第三者災害も含めて、工事に関わる作業員全員には無事、一日を終えてもらうことが我々の務めの一つであると思っております。オーナー様からの大切な建物を施工するにあたり、現場のスローガンにもありますが、家族・仕事・多くの方々に感謝をして、建物を無事に無事故・クレームゼロで竣工を迎えられることに、工事部全体で取り組んでまいります。



## 相続税法改正における注意点

平成27年1月1日から相続税法が改正されました。この相続税法改正により、多くの人に影響が出ているようです。改正内容についてのポイントは4つです。1つめのポイントは基礎控除の引き下げです。基礎控除の金額が60%減額されました。平成26年12月31日までの基礎控除は、「5000万円+(1000万円×法定相続人の数)」でしたが、平成27年1月1日からは「3000万円+(600万円×法定相続人の数)」に大幅に引き下げられることになりました。

ソリューション事業部  
小林 文浩



例えば、妻1人と子供2人を残してお父さんが亡くなった場合、以前は8,000万円が遺産に係る基礎控除額でしたが、改正後は「3,000万円+(600万円×3人)」=4,800万円となり、以前と比べて3,200万円もの減額がされたこととなります。2つめのポイントは税率の引き上げです。税率区分が6段階から8段階に変更され、法定相続人の取得価格が2億円を超え3億円以下は税率が40%から45%へ引き上げ、6億円を超えた場合は50%から55%へ引き上げられました。残り2つのポイントは、未成年者控除及び障害者控除が増額に改正されたこと、小規模宅地の特例が改正されたことです。この2つの改正については以前に比べて有利な改正となりました。相続税については、基本的に現金一括で支払わなければなりません。相続財産のほとんどが不動産である場合は、納税資金が十分ではないことがあります。「自宅を売却して納税資金に充てる…」なんていうことにならないよう、お元気なうちからご家族と相談し、相続対策の計画を立てることをお勧めいたします。相続対策の方法は色々あります。「相続」が「争続」にならないよう、是非お気軽にご相談いただければと思います。

田中組

## ドローンはじめました！



許可・承認書

皆さん、「ドローン」というものをご存知ですか？「ドローン」とは、遠隔操作可能な無人航空機の総称で、高度なセンサーやプログラミングによって、ラジコンよりも操縦技術のハードルが下がった機器のことを示します。この「ドローン」を使って何ができるか。今までは農薬散布や特殊な空撮など、また一部の方が趣味の域で飛行させるものでした。しかし近年、安価な商品、また指先に乗るほど小さなおもちゃタイプまで販売されており、一般の方が気軽に空撮を楽しむことができるようになってきました。しかしながら、2015年の首相官邸への落下事件も記憶に新しいと思いますが、プライバシーの侵害問題、また電線など公共物への衝突事故なども大いに懸念されています。

田中組では本格的なドローンを導入し、社員が「無人航空機の飛行に係る許可」の国家資格を取得しました。これに基づき、安全かつ確かな技術でのドローン操縦を行っております。業務として扱っているのは、屋根や外壁の調査・土地や建物の現況調査、また工事写真・竣工写真(当社関連工事)などです。今までは目視確認が難しかった屋根部分も、ドローンによる空撮ではしっかりと捉えることが可能になりました。

ご興味をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい！



## 総合介護福祉施設 かりん

「総合介護福祉施設 かりん」はJR新潟駅南口から徒歩5分のマンション内で、デイサービス・ショートステイ・グループホーム・居住介護支援事業所の、4つのサービスを提供しています。

内部はホテルのように明るく、とてもきれいな施設です。一階には内科・皮膚科・薬局もあり、またお風呂は絵のお風呂で、広々温泉気分を楽しめます。

「おだやかで、心やわらく家族目線の介護」という理念のもと、ご利用者様に対し、職員一人ひとりが自分の大切な家族に接する気持ちで、お一人お一人のご要望をしっかりお聞きし、優しい穏やかな空間で過ごして頂き、また元気になって頂きたいと考えています。

ご利用者様は皆様、様々なお気持ちで、快適に楽しく生活していきたいとお考えです。その思い・理想に少しでも近づけるよう、またご利用者様がご自分のペースでゆったり過ごして頂けるよう、職員一同「笑顔・優しさ・思いやり」を常に心掛けサポートしています。



賃貸管理センター  
香場 祐太



## 賃貸管理センターより



はじめまして、賃貸管理センターの香場です。私たちの部署は昨年4月より本格始動しました。私たちの管理は「お客様第一主義」です。全てにおいて入居者様を第一に考え、入居者様が暮らしやすいお部屋を提供することが結果として高い入居率を実現し、オーナー様は安定した経営をすることが出来ると思います。

また、私たちは建設会社です。建設会社としての管理を行っています。賃貸物件は入居者様に入っていく大切な商品です。その商品を最高の状態で維持していくことが賃貸経営のカギになってきます。建設に携わる私たちだからこそ、最高の状態での維持をご提供させていただけると思います。最善の修繕方法・維持方法・修繕周期。賃貸管理部門、建物管理・営繕部門とのタッグによりオーナー様の大切な資産を守るため、とことん追求します。その為に私たちは年に1回建物無料点検を行っています。人間で言えば定期健康診断、車には車検があるように建物にも定期的な診断が必要です。早期発見・早期修繕を行うことにより、大きな修繕費になることを未然に防ぎます。

このような建設会社としての管理を行い、オーナー様の賃貸経営をサポートしていきます。まだまだ立ち上げて間もない部署ですが、多様化する入居者様のニーズに応え建物会社としてオーナー様と寄り添い進んでいきたいと思っています。

次号からは、賃貸管理に関する具体的な内容をご紹介します。どうぞご期待下さい。

COLUMN

## 出会いを紡いで

私たちサポーターは、毎月担当する地域のお客様のお宅へ情報誌をお届けしています。その時に私は新潟市内の昔懐かしい写真を一緒にお持ちしています。

こちらの白木様ですが、毎回写真を大変喜んで下さり、訪問するたびに当時の懐かしい思い出話を嬉しそうに聞かせて下さいます。「農作業がすべて手作業だった時代」「建物の歴史」など沢山のことを教えて下さいました。

当時を知ることは私自身もとても勉強になりますし、お話を聞かせて頂くことが、今では私にとっての大きな楽しみとなっています。



ファミらいふサポート室 日岡 かおり

新潟市中央区 白木様



## 編集部より

「ファミらいふNEWS」創刊号、いかがでしたでしょうか？ファミらいふグループに対して、少しでも親しみをお持ち頂けたら、嬉しい限りです。そして掲載の内容についても、今後も皆様にお役に立てるような情報の提供に努めてまいります。「実はこういう情報がほしい」などの、疑問・質問をお持ちでしたら、是非お寄せ下さい。皆様からのお声も、社員一同こころよりお待ちしております。

ファミらいふNEWSの感想・ご質問はこちら /

0120-661-172